

みずほマーケット・トピック(2021 年 11 月 19 日)

内容 1. 為替相場の動向

2. 来週の注目材料

※誠に恐れ入りますが、「3. 本日のトピック」はお休みさせていただきます。

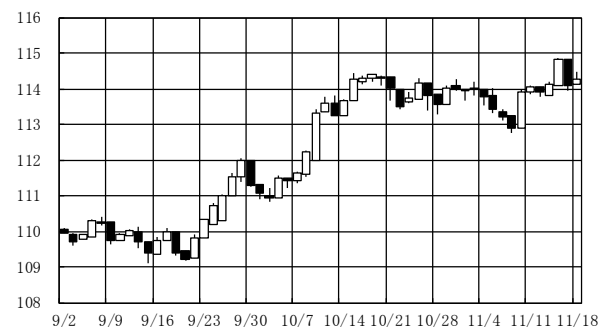
1. 為替相場の動向(関連レポート:「みずほ Customer Desk Report」、「今週の為替相場見通し」)

- 今週のドル/円相場は週半ばに年初来高値を更新した。週初 15 日、114 円付近でオープンしたドル/円はポジション調整の動きから一時週安値の 113.76 円まで値を下げるも、その後発表の米 11 月 NY 連銀製造業指数の好結果や米長期金利上昇を背景にじり高に推移し、114 円台前半まで値を戻した。16 日、114 円台前半で小動きだったドル/円は、米 10 月小売売上高や米 10 月鉱工業生産の力強い結果や米長期金利、米株の堅調推移が支援材料となりドル買いが加速、114 円台後半まで急伸しその後も高値圏での推移となった。17 日、ドル/円は前半に 114.97 円をつけ年初来高値を更新も、115 円を目前に伸び悩み 114 円台後半で揉み合う展開。米国時間に入ると、米 10 月住宅着工件数の冴えない結果から 114 円台前半まで下落、その後もドル売りが加速し、一時 113 円台後半まで値を下げた。18 日、ドル/円はリスク回避に動きが強まり上値重く推移するも、海外時間に入り米 11 月フィラデルフィア連銀製造業景況指数などの結果を受け米金利が上昇し、114 円台前半まで持ち直した。本日のドル/円は 114 円台前半での取引となっている。
- 今週のユーロ/ドル相場は週半ばに年初来安値を更新した。週初 15 日、1.1440 付近でオープンしたユーロ/ドルは一時週高値の 1.1464 まで上値を伸ばすも、米 11 月 NY 連銀製造業指数の良好な結果や米長期金利上昇が重石となり 1.13 台前半まで急落。その後小反発も戻りは鈍い動きとなった。16 日、ユーロ/ドルは前日のドル買いの流れが継続。複数の米経済指標の力強い結果を受け 1.13 台前半まで下落した後、小反発するも米長期金利上昇に伴うドル買いに押され 1.13 台前半まで続落した。17 日、ユーロ/ドルは前日のドル買いの流れが継続する中で 1.1263 まで続落して、年初来安値を更新。その後は、不冴えな米経済指標の結果や米金利低下に伴うドル売りから 1.13 台前半まで持ち直した。18 日、ユーロ/ドルは 1.13 台前半での小動きだったが、ポジション調整の動きやユーロ/円の上昇に連れ高となり 1.13 台後半まで値を戻し、その後も堅調に推移した。本日のユーロ/ドルは 1.13 台前半での取引となっている。

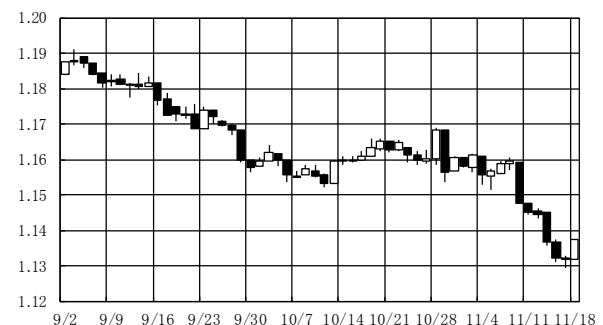
今週のおもな金融市場動向(出所:ブルームバーグ、みずほ銀行)

		前週末	今 週			
		11/12(Fri)	11/15(Mon)	11/16(Tue)	11/17(Wed)	11/18(Thu)
ドル/円	東京9:00	114.04	113.99	114.13	114.90	114.20
	High	114.30	114.21	114.85	114.97	114.48
	Low	113.77	113.76	114.10	113.94	113.88
	NY 17:00	113.92	114.14	114.83	114.09	114.26
ユーロ/ドル	東京9:00	1.1448	1.1442	1.1368	1.1318	1.1318
	High	1.1462	1.1464	1.1385	1.1332	1.1374
	Low	1.1433	1.1356	1.1309	1.1263	1.1314
	NY 17:00	1.1443	1.1367	1.1320	1.1319	1.1374
ユーロ/円	東京9:00	130.58	130.46	129.80	130.04	129.28
	High	130.74	130.60	130.08	130.05	129.94
	Low	130.22	129.70	129.70	129.05	129.09
	NY 17:00	130.38	129.73	129.97	129.17	129.90
日経平均株価		29,609.97	29,776.80	29,808.12	29,688.33	29,598.66
TOPIX		2,040.60	2,048.52	2,050.83	2,038.34	2,035.52
NYダウ工業株30種平均		36,100.31	36,087.45	36,142.22	35,931.05	35,870.95
NASDAQ		15,860.96	15,853.85	15,973.86	15,921.57	15,993.71
日本10年債		0.07%	0.06%	0.07%	0.07%	0.08%
米国10年債		1.57%	1.61%	1.64%	1.58%	1.59%
原油価格(WTI)		80.79	80.88	80.76	78.36	78.41
金(NY)		1,868.50	1,866.60	1,854.10	1,870.20	1,861.40

ドル/円相場の動向



ユーロ/ドル相場の動向



2. 来週の注目材料

- 米国では、24日(水)に、FOMC 議事要旨(11月会合分)が公表される。11月 FOMC では量的緩和の段階的縮小(テーパリング)を決定した。具体的には11月から毎月の資産購入ペースを国債は月100億ドル、ローン担保証券を月50億ドルずつ減らし、経済が予想通りの回復を見せた場合、22年の半ばにテーパリングを終えるといった内容となる。一方、利上げに関しては物価上昇に伴う消費者心理の悪化や雇用者数と労働参加率の両面において最大雇用に達していない点を挙げ慎重な姿勢を維持した。9月時点のドットチャートでは22年後半での利上げ着手がもはや少数派ではないことが示唆されているが、不安定な物価動向の解消に時間を要する中、12月に見通しが変更される可能性も残る。
この他、パウエルFRB議長が22年2月に任期満了となるに当たり、後任人事が大詰めを迎えている。パウエル議長の再任かブレイナード理事を起用するかに絞られており、指名権を持つバイデン大統領も近日中に意思を固める方針を示している。ブレイナード理事はFOMCメンバーの中でもハト派として知られ、仮に後任として選任された場合にはFRBの利上げ時期にも影響が出ることも想定される。
- 欧州では23日(火)にユーロ圏11月PMI(速報)が発表される。10月総合PMIは54.2と3か月連続での悪化となり、6か月ぶりの低水準を記録した。内訳を見ると、製造業が58.3でサービス業は54.6となった。製造業に関しては4か月連続での低下となった。供給制約に伴う半導体不足や物流の混乱で自動車を中心に生産の停滞が顕在化しつつあることが確認された他、原油をはじめ原材料価格の急上昇が収益を圧迫し、販売価格への転嫁が進んでいることも報告された。サービス業に関しては、域内での新型コロナウイルス感染の再拡大が影響して3か月連続で悪化した。国別にみると、過去最悪のペースで感染拡大が進むドイツでは52.4と5月以来の水準にまで低下しているが、フランスやスペインなど9月からの水準を維持する国もあり強弱まちまちな結果となった。引き続き域内の感染再拡大は足許の供給制約と共に大きなリスク要因と捉えるべきであろう。なお、ブルームバーグでは11月の結果に関し、総合が53.7、製造業、サービス業をそれぞれ57.5、54.1と予想している。

	本 邦	海 外
11月19日(金)	・10月全国CPI	・ユーロ圏9月経常収支
22日(月)	_____	・米10月シカゴ連銀全米活動指数
23日(火)	・11月製造業/サービス業PMI(速報)	・ユーロ圏11月製造業/サービス業PMI(速報) ・ユーロ圏11月消費者信頼感指数 ・米10月中古住宅販売件数
24日(水)	_____	・米7～9月期GDP(確報) ・米FOMC議事要旨(11月会合分) ・米11月ミシガン大学消費者マインド(確報) ・米10月新築住宅販売件数
25日(木)	・10月工作機械受注(確報)	・米休場
26日(金)	_____	_____

【当面の主要行事日程(2021年11月～)】

FOMC(12月14～15日、1月25～26日、3月15～16日)
日銀金融政策決定会合(12月16～17日、1月17～18日、3月17～18日)
ECB政策理事会(12月16日、2月3日、3月10日)

市場営業部・金融市場部
チーフマーケット・エコノミスト
唐鎌大輔(TEL:03-3242-7065)
daisuke.karakama@mizuho-bk.co.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

バックナンバーをご希望の方は以下のサイトからお取り頂くことも可能です
<http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ.html> (Archives) http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ_backnumber.html

発行年月日	過去6か月のタイトル
2021年11月17日	10月貿易統計を受けて～補強される円安シナリオ～
	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2021年10月分)
2021年11月16日	不安視される米消費者心理の悪化
2021年11月15日	今年2度目のマイナス成長となった日本
2021年11月12日	週末版(本邦10月国内企業物価指数を受けて～可視化され始めた円安&資源高の怖さ～)
2021年11月11日	ドル/円相場、5年ぶりの値幅は大相場の前兆か？
2021年11月10日	欧米7～9月期GDPIについて～大きすぎる日本との格差～
2021年11月9日	FOMCと米10月雇用統計を受けて～今後の見方～
2021年11月5日	週末版
2021年10月29日	週末版(ECB政策理事会を終えて～冷静なインフレ分析と盛り沢山の12月会合～)
2021年10月28日	2%を突破したユーロ圏のインフレ期待と利上げの今後
2021年10月26日	供給制約下の利上げは正当化されるのか？
2021年10月25日	ECB政策理事会プレビュー～12月に向けた露払い～
2021年10月22日	週末版(ドイツメンバー、4度目の退場～バイマツ独連銀総裁の辞任報道を受けて～)
2021年10月20日	本邦9月貿易収支を受けて～需給も円売り材料に～
2021年10月19日	ドイツ連立政権発足へ前進～クリスマス前にも？～
2021年10月18日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2021年9月分)
	欧州委員会、初のグリーンボンド発行を受けて
2021年10月15日	週末版(IMF秋季世界経済見通し(WEO)を受けて～世界とは別次元の日本の悩み～)
2021年10月13日	円安に蝕まれる日本経済の現状
2021年10月12日	現実味を帯びるECB正常化、日銀にも好機
2021年10月11日	米9月雇用統計を受けて～既定路線の修正には至らず～
2021年10月8日	週末版(ECB政策理事会議事要旨(9月9日開催分)～争点は「PEPPの次」へ～)
2021年10月7日	インフレ高進を考える～「目先の生活」vs「地球の気温」～
2021年10月5日	交易条件の悪化に蝕まれる日本経済
2021年10月4日	岸田政権に求められる「新規感染者主義からの脱却」
2021年10月1日	週末版
2021年9月30日	ドル/円の年初来高値更新と岸田新政権への期待
2021年9月28日	次期ドイツ政権が直面する課題②～域内再分配～
2021年9月27日	次期ドイツ政権が直面する課題①～対中関係～
2021年9月24日	週末版(FOMCを終えて～既定路線と化した「22～23年の利上げ」～)
2021年9月22日	恒大問題の現状整理～2つのポイントで理解する今後～
2021年9月21日	ドイツ総選挙直前プレビュー～政治空白は必至か～
2021年9月17日	週末版(実質実効為替相場(REER)の国際比較～過去1年で割安感が加速したのは円くらい～)
2021年9月16日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2021年8月分)
	日本株上昇をどう解釈すべきか～2つの理由の妥当性～
2021年9月14日	70年代前半まで落ち込む円の価値、その意味
2021年9月13日	接種率の米国超えも、漂流する「戦略なき経済」
2021年9月10日	週末版(ECB政策理事会を終えて～12月がPEPP終了判断の分かれ目に～)
2021年9月8日	米消費者心理と米国の所得・消費環境について
2021年9月7日	世界経済は「踊り場」も円相場シナリオは揺るがず
2021年9月6日	米8月雇用統計を受けて～当面の3つのシナリオ～
2021年9月3日	週末版(ユーロ圏の物価情勢と孤立する日本～日米欧の物価情勢格差も鮮明に～)
2021年9月1日	ECB政策理事会プレビュー～にわかに出口モード～
2021年8月30日	ジャクソンホール経済シンポジウム～市場は安堵の様相～
2021年8月27日	週末版(ECB議事要旨を受けて～新ガイダンスを巡って議論紛糾～)
2021年8月26日	混沌極めるドイツ総選挙～現実味帯びる「CDU/CSU」下野～
2021年8月24日	銅金レシオ急落はリスクオフ開始の合図か？
2021年8月23日	ECB政策理事会プレビュー～「静観が吉」しかない情勢～
2021年8月20日	週末版(FOMC議事要旨を受けて～正常化プロセスは視界良好～)
2021年8月19日	迫るメルケル退場～欧州の未来を問う選挙～
2021年8月17日	本邦4～6月期GDPを受けて～完全復元は23年以降に～
2021年8月16日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2021年7月分)
	メインシナリオの障害～米消費者マインドの動揺～
2021年8月13日	週末版(「異形の経済」が修正されるドイツ～アフター・メルケル時代へ)
2021年8月11日	世界に範を示す英国の金融政策運営
2021年8月10日	米7月雇用統計～実現に近づくウォラー想定～
2021年8月6日	週末版
2021年8月3日	「雇用の最大化」に近づく米国経済
2021年8月2日	アフターコロナを捉えた米欧の4～6月期GDP
2021年7月30日	週末版
2021年7月29日	FOMCを終えて～「著しい進展」が視野に～
2021年7月28日	1人負けが鮮明となっている日本の経済・金融情勢
2021年7月27日	「米国買い」をテーマとする金融市場の現状
2021年7月26日	ECB政策理事会を終えて～歴史的な修正～
2021年7月21日	週末版
2021年7月20日	変化の兆候を感じる円相場～需給・物価要因に変調～
2021年7月19日	気候変動オペを受けて～バランスに配慮した素案～
2021年7月16日	週末版(「ドル安見通し」の内情を探る～「需給」でドル安の現実味～)
2021年7月15日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2021年6月分)
2021年7月14日	米インフレ率の騰勢とノイズ化するドットチャート
2021年7月13日	気候変動対策に動き出したECB～戦略修正を受けて～
2021年7月12日	猜疑心強まる民間部門～緊急事態宣言と貯蓄～
2021年7月9日	週末版(ECB、18年ぶりの戦略修正の中身～ハト派修正であることは確か～)
2021年7月8日	米金利低下でも買われない円。理由はどこに
2021年7月6日	想定される3つのシナリオ～BIS年次報告②～
2021年7月5日	Pandexitと格差拡大～BIS年次報告～
2021年7月2日	週末版(2021年上半年の為替相場レビュー～下半期はワクチンから金融政策へ～)
2021年7月1日	世界の外貨準備動向～21年3月末時点～
2021年6月28日	22年Q1に完全回復を見込むECB。「次の一手」は？
2021年6月25日	週末版(ワクチン相場の賞味期限とリスク～「ワクチン接種先進国のつまづき」に怯える局面～)
2021年6月23日	やはり無理が出始めた北アイルランド国境管理
2021年6月22日	遂に日銀も踏み出した中銀のグリーン化～その②～
2021年6月21日	遂に日銀も踏み出した中銀のグリーン化～その①～
2021年6月18日	週末版
2021年6月17日	FOMCを終えて～前倒しで進む正常化シナリオ～
2021年6月16日	新たな安全資産の誕生～ハミルトン・モーメントか否か～
2021年6月15日	イングランド行動制限延長も構図は変わらず
	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2021年5月分)